

# 釧路南ロータリークラブ会報

第39回 例会報告 2009.5.8 通算1299回

・点 鐘 北上会長

・ロタリーソング  
「奉仕の理想」「君が代」「四つのテスト」



ソングリーダー 福井 克美会員



ポールハリス・フェロー 北上会員

・お客様と来訪ロータリアンの紹介  
札幌東ロータリークラブ 矢橋 潤一郎君

・会 長 挨拶

・入 会 記 念 祝  
原田 眞則会員 H 2. 5. 11 (19年目)



本日のお客様は札幌からお越しの建築測量の矢橋さん本日はゆっくりとして行ってください。しばらく公用での、出張が多く久々の出席で、ご無沙汰を謝ります。又、先日の旭川での地区協議会は、沢山の出席を頂き有難う御座いました。そして、話題のラッコのクーちゃんですが、今日は見えなかったようですが釧路市民を問わず全国的に癒しを届けているのがマスコミの対応で良く分かります。ずっと無事に居てくれるのを願うものですが、いつか野生に戻るのには仕方ないのでしょうか。本日のお客様の札幌東RCの矢橋さんのクラブは沢山の会員が居られますがたまにはうちの様な会員のところでのメイキャップは、久々に心の癒しを受けられる事と思います。是非又のご来訪をご期待申し上げまして、挨拶と致します。

・表 彰 式



マルチポールハリス・フェロー 船戸会員

## ・幹事報告



- \* 釧路RC、浜中RC、釧路北RCより5月例会プログラムのご案内を拝受しております。
- \* 釧路西RC、釧路ベイRC、中標津RC、根室RC、根室西RCより5月例会プログラムのご案内と会報を拝受しております。
- \* 釧路東RCより5月例会プログラムのご案内と月報を拝受しております。
- \* ロータリー情報集最新版の申し込みのご案内が届いております。必要な方は幹事までお知らせ下さい。

## ・委員会報告

### 親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

原田 真則会員 入会記念祝として  
船戸 利二会員

### 出席委員会

会員 27 名 12 名出席 出席率 44%

## ・本日のプログラム

### 「地区協議会参加報告」

担当 次期会長

- ・工藤次期会長



地区協議会に参加された会員の皆様、片道4時間半前後、本当にお疲れさまでした。

帰りの悪天候(雪)には、ひやひやさせられましたが、事故も何もなく帰路に着けた事まず一安心でした。紋別に行った時の豪雨を思い出しました。あの時も帰りの行く道、行く道が通行止めでした。今では懐かしい思い出です。今年度は旭川に行く事が多いと思いますが、会員の皆様の御協力宜しくお願い致します。地区協議会参加報告をさせていただきます。4月25日は会長エレクト研修・米山記念奨学会セミナー・会員増強セミナーということで、この日は私工藤と長倉次期幹事と長井会員の3名の参加でした。

会長エレクト研修は9:00から12:00。内容は次年度活動目標・方針発表、研修リーダー講話、次年度予算案・活動スケジュールでした。13:00から14:30まで米山記念奨学会セミナー、講師栗原さん 米山DVD観賞しました。このDVDは南クラブでは米山記念月間の時、皆様で観賞したDVDでした。北川健二理事から第2500地区米山記念奨学事業概要の講話を頂きました。

14:30から16:00まで会員増強セミナーで小船井パストガバナーのスピーチに続いて第7分区葎本ガバナー補佐のスピーチでした。葎本ガバナー補佐のスピーチはとても流ちょうな楽しいスピーチでした。4月26日地区協議会、9:00から11:30まで本会議開会セレモニー、11:45から13:45が分科会となり 第1分科会 工藤、第2分科会長倉幹事・木内会長エレクト・職業奉仕委員長、

第3分科会 北上プログラム委員長、第4分科会 長井会報委員長 福井理事、第5分科会 花田社会奉仕委員長 長江副会長・会計、第6分科会 佐野国際奉仕委員長が、それぞれ分かれての分科会でした。

2009～2010年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー氏（スコットランド・グランジマウス）今年度のジョン・ケニーRI会長のテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」です。

会長メッセージ「私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとたえることができます」国際ロータリーは確かな未来を築くため、世界中のロータリアンから協力を得て、7つの優先項目を掲げた長期計画を立てました。今、この計画を実行に移すときがやってきたのです。

- 「ポリオを撲滅する」が、私たちの最優先事項です。募金のチャレンジを通じて、この重要な仕事を完遂し、世界に対して約束を果たすために、私たちはリソースの提供というかたちで力になることができます。
- 「ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める」は、ロータリーが新会員を引きつけ、他団体からの協力を得ることにつながります。ポリオ・プラスでロータリーは世界の表彰台で活躍するようになりました。今後は、地元と世界における奉仕活動をメディアと地域社会に広め、国際的な地位を築いていくときがやってきたのです。
- 「他者に奉仕するロータリーの能力の拡大を図る」はロータリーの使命の核心に触れるものです。四大奉仕部門に沿って時間と才能と熱意をこれまでより少しだけ多く捧げるなら、すべてのロータリアンがこの目標に向けて貢献できます。2009～10年度も、近年、クラブが取り組み続けている重要な問題、すなわち、水、保健と飢餓救済、識字率向上の分野における奉仕活動に専念するよう、ロータリアンに呼びかけています。
- 「質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する」は、重要な優先事項です。これは、ロータリーが達成すべき目標のすべてが会員をよりどこ

ろとしているからです。資格ある新会員をもたらすことは、私たち一人ひとりの責務です。しかしながら、この責務を果たしているロータリアンはわずかです。ほかの人々にクラブへの入会を勧め、会員を増やすことができるのはロータリアンしかいないのです。

- 「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」は、ほかの奉仕団体や人道団体とロータリーとの違いを明確に分けるものです。職業倫理への高い水準を保ち、日々実践することによって、私たちは同僚や従業員、顧客はもちろんのこと、競合相手に対しても模範を示すことができます。
- 「国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する」は、ロータリーの未来にとって欠かせない要素です。私たち一人ひとりが、なんらかのかたちで指導的役割を担うべきです。クラブレベルで委員会の委員長や奉仕プロジェクトの委員を務めたり、地区レベル、国際レベルで活躍するなど、さまざまな役割があります。すべてのロータリアンは職業において指導的な立場にある人々ですから、ロータリーにおいてもこの指導力を発揮するべきです。
- 「組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する」は、クラブ、地区、国際レベルで毎年指導者が交代する際に、引継ぎが効果的に行えるようにすることが目的です。

この長期計画はRI理事会が承認したものでありますが、これを実施するのは皆さんです。

RI会長が、皆さんのクラブに入会するようにと新しい会員を誘うことはできません。また、RI理事会が、ポリオ撲滅の支援に向けて、皆さんの地域で募金活動を企画したり実施したりすることもできません。同様にシニア・リーダーが、皆さんの職場でロータリーの倫理規範を実践することもできません。すべては、皆さん自身が実行しなければならないのです。

ロータリーの未来はあなたの手の中にあります。

2009～2010年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー 山本信男

ガバナー（旭川東RC）今年度の地区の目標

1. 本業に一意専心、地域発展に貢献を
2. 例会を楽しく、出席率向上を
3. 会員増強・退会防止に、さらなる努力を
4. ロータリー財団・米山記念奨学会・ポリオ撲滅に協力を

地区役員には 世界社会奉仕委員会には南RCから花田会員が副委員長に、GSE委員会には福井会員が委員に、そして危機管理委員会に工藤会員が委員となりRI第2500地区の役員として貢献しております。

2009～2010年度地区日程

- 8月7日 釧路南ロータリークラブ公式訪問  
5クラブ合同懇親会
- 8月21～23日 ライラセミナー音更十勝川温泉十勝エコロジーパークにて
- 9月11日～13日 旭川にて地区大会
- 10月24日（土曜日）旭川RC75周年
- 以上で地区協議会参加報告でした。

地区協議会開場では、ライラセミナー等で友人となった地方のロータリアンと会うことができ友好を深めることができました。話の中で山本ガバナー年度のスタートつまり私が会長の年度のスタートなのだと、あらためて身の引き締まる地区協議会でした。そして、これから始まろうとしている未来に一意専心の気持ちで頑張りたいと思いません。

#### ●第4分科会 福井会員



雑誌（ロータリーの友）委員会

委員長 石井 嘉穂（広尾RC）

ロータリーの友は、ロータリーの公式機関紙として、毎月15万部を発行している。日本の「ロータリーの友」は、昭和28年から発行しているが、昭和55年にRI公認となった。ロータリーの友は、表裏共に表紙となっていて、表は文字が横書きでRI指定記事などが掲載され、裏は文字が縦書きでロータリアン投稿記事が掲載されています。投稿される記事は大量にあり掲載する記事は、委員会が選考して決める。

広報・地区IT推進委員会

委員長 石塚 茂樹（釧路北RC）

広報の役割は、ロータリーの理解、評価、支援を得る広報活動を行う。ホームページの活用方法を検討する。ロータリアンの活動を理解してもらうことで会員拡大にも繋がる。ITの活用を広げることも委員会の役目だ。もっとメーリングリストの利用を広める。たとえば、分区内会長幹事会等。ホームページは68クラブ中、20クラブしかないのもっと増やしたい。週報をホームページに掲載することで印刷物を減らすことが出来る。

文献管理委員会

委員長 渡部 利男（旭川南RC）

この委員会は、2500地区では今年度新しく新設された委員会です。各クラブから文献や図書、ビデオ、ロータリーソング、講演テープ、IM記録などの資料文献に関する情報を収集し活動状況を調査したい。年度内には各クラブの保有文献のアンケート調査を実施します。他の地区では、合同事務所に文献管理庫を持ち、年度ごとのクラブ資料やガバナー事務所の書籍資料など、一括管理し閲覧、貸出などし、有効な文献資料に活用されている。当地区も広報（IT）を利用して情報交換の場としたい。

職業奉仕委員会

委員長 草島 博之（北見RC）

ロータリーの職業奉仕理念を理解し、日々これを実践する。職業奉仕理念を勉強する機会を設ける。

• 第6分科会 佐野会員



私は国際奉仕委員会として、第6分科会に出席してまいりました。次年度地区国際奉仕委員会委員長は、釧路RCの中井さんです。司会は釧路ベイRCの葎本先生の進行で始まり、まず、最初に2009～2010年度地区ロータリー財団委員長である、小船井パストガバナーによる、ポリオプラス募金に関する当地区の基本的考え方・当地区の対応についてお話がありました。RIからの寄付要請は1クラブ1千ドルを要請しているのですが当地区では、会員数にばらつきがあるので人頭割り、一人2000円をお願いしたい。決して「強制」するものではないし又、「義務」でもないということを徹底する。各クラブ・ロータリアンからの現金寄付にプラスする形で、DDF「地区財団活動資金」を振り向ける。次に、ロータリー財団委員会副委員長の笹谷さんから「地区補助金に関する指針」・「2500地区の地区補助金申請基準」について説明がありました。次に地区国際青少年交換委員会からは、以前の交換事業の様子をプロジェクターで紹介がありました。ここで昼食に入り、悪天候の為釧路に帰ってまいりました。

• 木内会員



• 矢橋潤一郎会員



• 次回のプログラム

5月15日(金)

「ボランティア月間に因んで

ゲストスピーチ」

ゲスト さわらび学園施設長様

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：社会奉仕委員会

• 点 鐘 北上会長

今週の会報担当：佐藤玄史会員